

広 報 資 料
(経済産業省，環境省同時)

平 成 2 0 年 2 月 2 2 日
環 境 局
〔 担当 環境企画部環境指導課
電話 2 1 3 - 0 9 2 8 〕

P R T R法に基づく届出（18年度データ）の集計結果について

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（以下、「P R T R法」という。）では，業種や従業員数等の一定要件を満たす事業者は，毎年，前年度に各事業所で取り扱った化学物質について，大気や河川等の環境中へ排出する量及び廃棄物等として事業所外へ移動する量を把握し，届け出ることを義務付けています。

このたび，平成19年度に市内の事業所から届出があった「平成18年度の化学物質の排出量等」の集計結果を下記のとおり取りまとめましたので，お知らせします。

記

1 P R T R法の目的

国及び自治体が，人の健康や動植物に有害な影響を及ぼすおそれのある化学物質の環境への排出量を把握し公表することにより，事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し，化学物質による環境汚染を未然に防止することを目的としています。

2 事業所からの届出状況

（1）行政区・業種別届出件数

282件の事業所から届出がありました。届出件数の内訳は，表－1（次ページ）に示すとおりです。行政区別では，南区の73件が最も多く，次いで，伏見区の53件，右京区の38件の順となっています。業種別では，燃料小売業（ガソリンスタンド）の134件が最も多く，次いで，製造業の94件の順となっています。

表－１ 行政区・業種別の届出件数

行政区 業種名	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計
製造業	2	2	0	6	3	10	3	35	16	0	17	94
食料品製造業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
繊維工業	1	0	0	0	0	0	1	2	1	0	2	7
木材・木製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
出版・印刷・関連産業	0	0	0	2	0	0	0	2	4	0	3	11
化学工業	1	0	0	1	1	2	1	7	2	0	3	18
医薬品製造業	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
プラスチック製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	4
窯業・土石製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
非鉄金属製造業	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
金属製品製造業	0	1	0	0	1	2	0	9	3	0	3	19
一般機械器具製造業	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	4
電気機械器具製造業	0	0	0	0	0	2	0	6	4	0	1	13
輸送用機械器具製造業	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
精密機械器具製造業	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
医療用機械器具・医療用品製造業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他の製造業	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	4
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	5
石油卸売業	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	4
自動車卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
燃料小売業	5	8	15	7	1	14	17	20	15	5	27	134
洗濯業	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
自動車整備業	1	0	1	1	0	3	0	12	5	0	0	23
商品検査業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
計量証明業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
一般廃棄物処理業	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	3	7
産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	3
特別管理産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
高等教育機関	0	1	2	0	0	1	0	0	0	1	0	5
自然科学研究所	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
合計	8	11	20	16	4	31	21	73	38	7	53	282

(2) 届出された物質

P R T R法の届出対象である 354 物質のうち、112 物質について届出があり、1 事業所当たりでは平均 4 物質となっています。

届出数が最も多かった物質は、トルエンの 175 件で、次いでキシレンの 173 件、エチルベンゼンの 144 件、ベンゼンの 136 件の順となっており、主に塗料等の溶剤やガソリン中に含まれています。

3 届出された大気等への排出及び廃棄物等として移動した状況

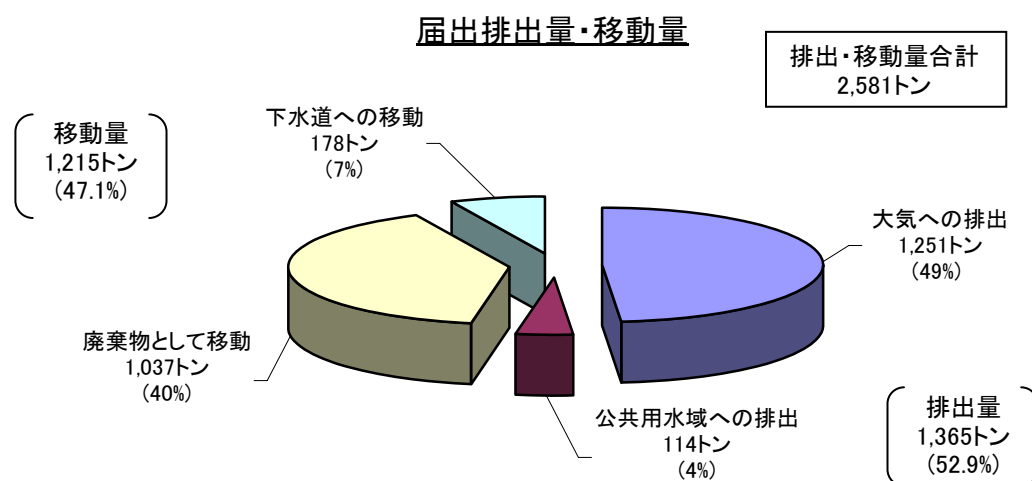
(1) 全事業所及び全物質の排出量・移動量

届出のあった排出量・移動量の合計は 2,581 トンであり、そのうち大気や公共用水域への排出量は 1,365 トン（排出量・移動量合計の 52.9%）、廃棄物や下水道への移動量は 1,215 トン（同 47.1%）となっています。

排出量の内訳は、大気への排出量が 1,251 トン（排出量の 91.6%）、公共用水域への排出が 114 トン（同 8.4%）となっており、大部分が大気への排出となっています。

また、移動量の内訳は、廃棄物としての移動量が 1,037 トン（移動量の 85.3%）、下水道への移動量が 178 トン（同 14.7%）となっており、大部分が廃棄物としての移動となっています。

図ー1 届出排出量・移動量の内訳

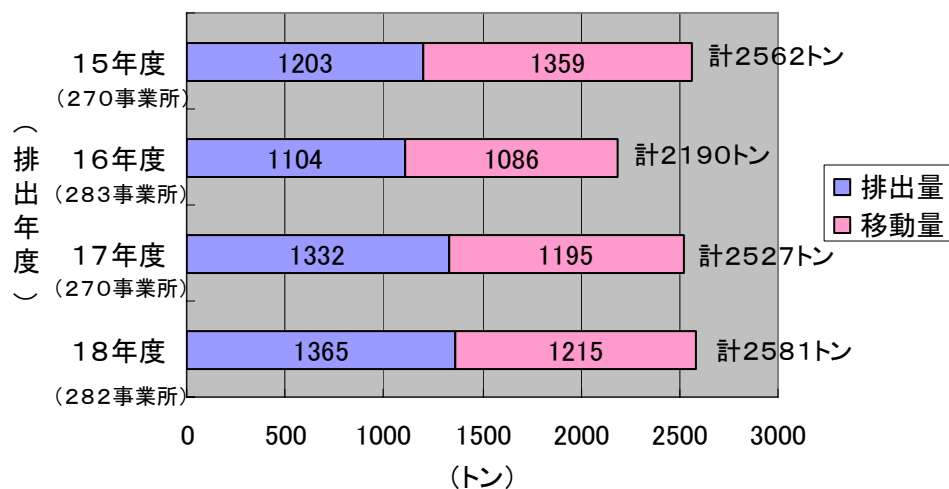


※排出量・移動量の値は、端数を四捨五入しているため合計量と合わない場合があります。

(2) 届出排出量・移動量の経年変化

前年度と比較すると、届出事業所数は12件増加し、大気や公共用水域への排出量は33トン、廃棄物や下水道への移動量は20トン増加しています。

図ー2 届出排出量・移動量の経年変化

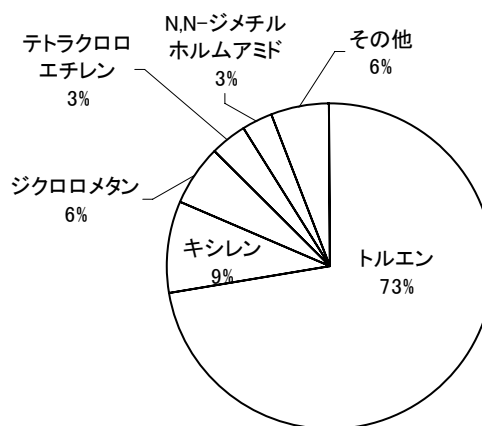


※()内は届出事業所数を示す。

※排出量・移動量の値は、端数を四捨五入しているため合計量と合わない場合があります。

(3) 大気への排出量が多かった物質

排出量のうち、大気への排出量が多かった上位5物質は、表ー2に示すとおり、トルエン、キシレン、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、N,N-ジメチルホルムアミドの順となっています。これらの物質の大気への排出量の合計は、1,179 トンであり、大気への排出量全体の94.2%を占めています。



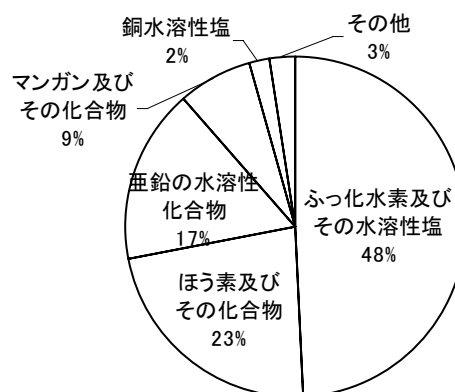
表ー2 上位5物質の大気への排出量と各物質の用途

順位	物質名	排出量	用途
1	トルエン	903 トン	合成原料, ガソリン成分, 溶剤
2	キシレン	114 トン	合成原料, ガソリン・灯油成分, 溶剤
3	ジクロロメタン	79 トン	洗浄剤, 溶剤
4	テトラクロロエチレン	43 トン	ドライクリーニング溶剤, 洗浄剤
5	N,N-ジメチルホルムアミド	40 トン	溶剤, 試薬
上位5物質合計		1,179 トン	—
総計		1,251 トン	—

(4) 公共用水域への排出量が多かった物質

排出量のうち、公共用水域（河川）への排出量が多かった上位 5 物質は、表－3 に示すとおり、ふっ化水素及びその水溶性塩、ほう素及びその化合物、亜鉛の水溶性化合物、マンガン及びその化合物、銅水溶性塩の順となっています。

これらの物質の公共用水域への排出量の合計は、111 トンであり、公共用水域への排出量全体の 97.4% を占めています。



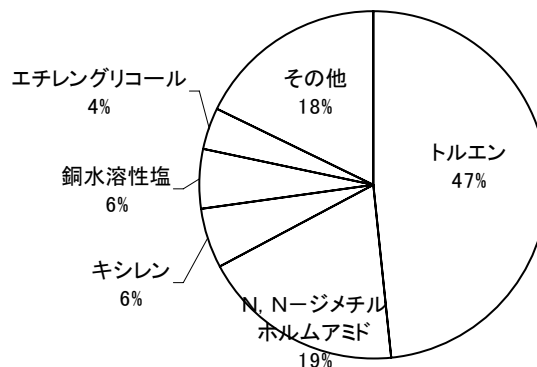
表－3 上位 5 物質の公共用水域への排出量と各物質の用途

順位	物質名	排出量	用途
1	ふっ化水素及びその水溶性塩	56 トン	半導体や金属の研磨
2	ほう素及びその化合物	26 トン	電子工業，ガラス原料
3	亜鉛の水溶性化合物	19 トン	金属表面処理，乾電池
4	マンガン及びその化合物	8 トン	鑄造，電池
5	銅水溶性塩	2 トン	メッキ，農薬原料，電池
上位 5 物質合計		111 トン	—
総計		114 トン	—

(5) 廃棄物としての移動量が多かった物質

事業所外への移動量のうち、廃棄物としての移動量が多かった上位 5 物質は、表－4 に示すとおり、トルエン、N,N-ジメチルホルムアミド、キシレン、銅水溶性塩、エチレングリコールの順となっています。

これらの物質の廃棄物としての移動量の合計は、852 トンであり、廃棄物としての移動量全体の 82.2% を占めています。



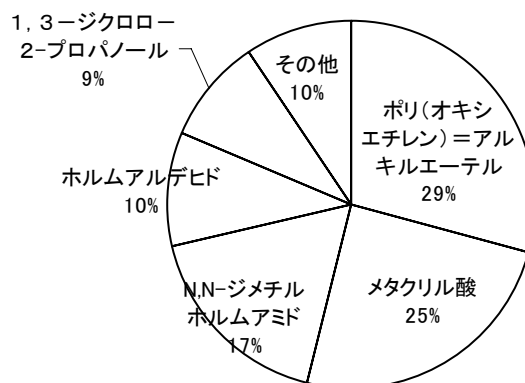
表－4 上位 5 物質の廃棄物としての移動量と各物質の用途

順位	物質名	移動量	用途
1	トルエン	500 トン	合成原料，ガソリン成分，溶剤
2	N,N-ジメチルホルムアミド	196 トン	溶剤，試薬
3	キシレン	58 トン	合成原料，ガソリン・灯油成分，溶剤
4	銅水溶性塩	57 トン	メッキ，農薬原料，電池
5	エチレングリコール	40 トン	不凍液，ポリエステル繊維原料
上位 5 物質合計		852 トン	—
総計		1,037 トン	—

(6) 下水道への移動量が多かった物質

事業所外への移動量のうち、下水道への移動量が多かった上位 5 物質は、表－5 に示すとおり、ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル、メタクリル酸、N,N-ジメチルホルムアミド、ホルムアルデヒド、1,3-ジクロロ-2-プロパノールの順となっています。

これらの物質の下水道への移動量の合計は、161 トンであり、下水道への移動量全体の 90.4% を占めています。



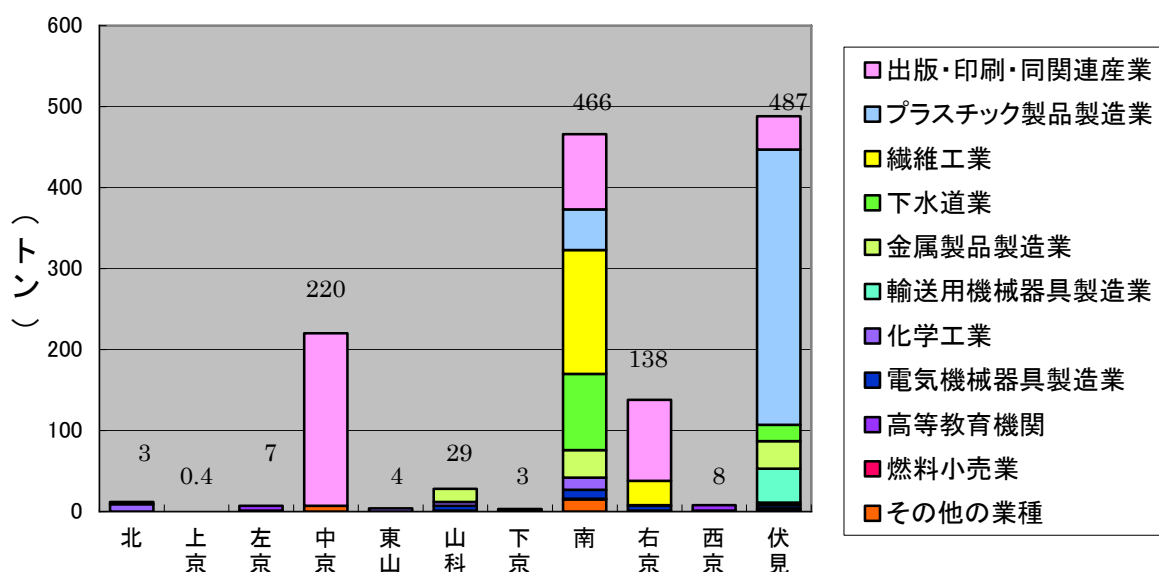
表－5 上位 5 物質の下水道への移動量と各物質の用途

順位	物質名	移動量	用途
1	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル	52 トン	界面活性剤, 乳化・分散剤
2	メタクリル酸	44 トン	重合原料, 加工剤
3	N,N-ジメチルホルムアミド	31 トン	溶剤, 試薬
4	ホルムアルデヒド	18 トン	重合・合成原料
5	1,3-ジクロロ-2-プロパノール	16 トン	溶剤, 合成中間体
上位 5 物質合計		161 トン	—
総計		178 トン	—

(7) 行政区・業種別排出量

排出量の内訳は、表－6 (次ページ) に示すとおりです。行政区別では伏見区の 487 トンが最も多く、次いで南区の 466 トン、中京区の 220 トンの順となっています。業種別では出版・印刷・同関連産業の 447 トンが最も多く、次いでプラスチック製造業の 390 トン、繊維工業の 188 トンの順となっています。

図－3 行政区別の排出状況 (業種内訳)



* 業種別の内訳については、排出量の多い上位 10 業種以外は「その他の業種」でまとめています。

表－6 行政区・業種別の排出量

単位：kg／年

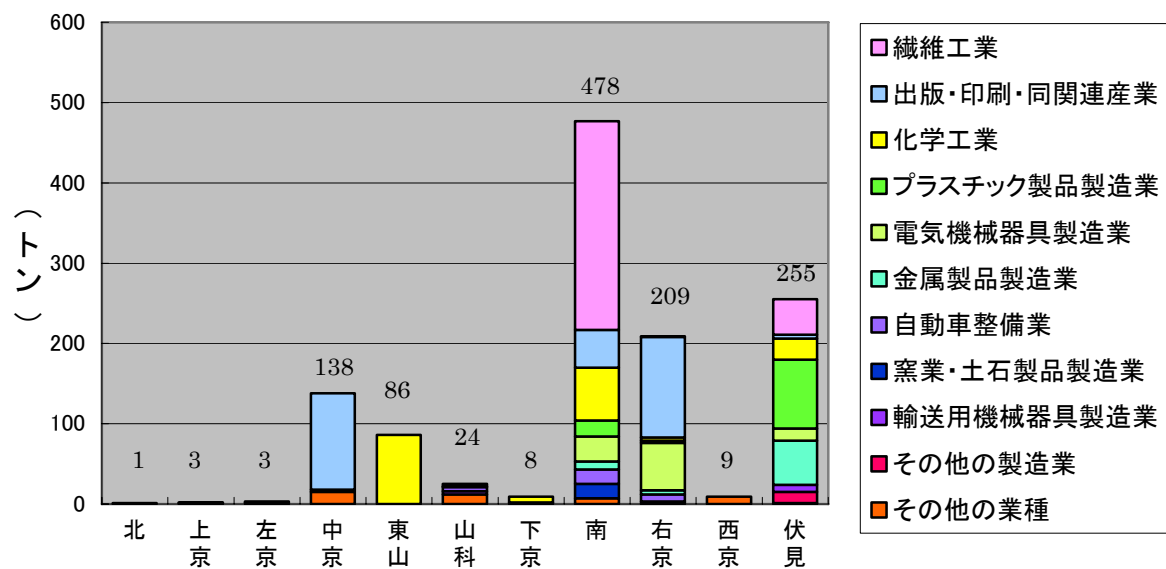
行政区 業種別	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計	割合
製造業	3,109	0	0	219,068	4,231	27,659	1,700	361,352	137,081	0	465,441	1,219,641	89.3%
食料品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
繊維工業	3,100	0	0	0	0	0	1,700	153,100	30,000	0	300	188,200	13.8%
木材・木製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
出版・印刷・同関連産業	0	0	0	212,700	0	0	0	92,900	100,077	0	41,000	446,677	32.7%
化学工業	9	0	0	68	4,231	4,984	0	14,808	20	0	2,978	27,097	2.0%
医薬品製造業	0	0	0	0	0	295	0	0	0	0	0	295	0.0%
プラスチック製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	49,700	333	0	340,000	390,033	28.6%
窯業・土石製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	1,325	0	0	0	1,325	0.1%
非鉄金属製造業	0	0	0	0	0	0	0	38	0	0	0	38	0.0%
金属製品製造業	0	0	0	0	0	16,000	0	33,700	791	0	33,890	84,381	6.2%
一般機械器具製造業	0	0	0	1,900	0	0	0	2,000	0	0	0	3,900	0.3%
電気機械器具製造業	0	0	0	0	0	6,380	0	10,981	5,509	0	3,500	26,370	1.9%
輸送用機械器具製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	351	0	41,600	41,951	3.1%
精密機械器具製造業	0	0	0	4,400	0	0	0	0	0	0	0	4,400	0.3%
医療用機械器具・医療用品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他の製造業	0	0	0	0	0	0	0	2,800	0	0	2,173	4,973	0.4%
下水道業	0	0	0	0	0	0	0	94,310	63	0	19,727	114,100	8.4%
石油卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0.0%
自動車卸売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
燃料小売業	360	410	1,047	387	39	1,038	837	1,431	765	552	2,005	8,869	0.6%
洗濯業	0	0	0	0	0	0	0	800	0	0	0	800	0.1%
自動車整備業	0	0	0	0	0	0	0	8,240	0	0	0	8,240	0.6%
商品検査業	0	0	0	87	0	0	0	0	0	0	0	87	0.0%
計量証明業	0	0	0	330	0	0	0	0	0	0	0	330	0.0%
一般廃棄物処理業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
特別管理産業廃棄物処分業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
高等教育機関	0	2	6,308	0	0	0	0	0	0	7,010	0	13,320	1.0%
自然科学研究所	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	55	0.0%
合計	3,468	413	7,355	219,872	4,270	28,697	2,538	466,187	137,909	7,562	487,176	1,365,446	100.0%
割合	0.3%	0.0%	0.5%	16.1%	0.3%	2.1%	0.2%	34.1%	10.1%	0.6%	35.7%	100.0%	－

※排出量の合計・割合は、端数を四捨五入しているため本集計表の縦・横方向に合計した値と異なる場合があります。

(8) 行政区・業種別移動量

業種別・行政区別の移動量の内訳は、表－7（次ページ）に示すとおりです。行政区別では南区の 478 トンが最も多く、次いで伏見区の 255 トン、右京区の 209 トンとなっています。業種別では、繊維工業の 306 トンが最も多く、次いで出版・印刷・同関連産業の 297 トン、化学工業の 192 トンの順となっています。

図－4 行政区別の移動状況（業種内訳）



*業種別の内訳については、移動量の多い上位 10 業種以外は「その他の業種」でまとめています。

表－７ 行政区・業種別の移動量

単位：kg／年

業種名	行政区	北	上京	左京	中京	東山	山科	下京	南	右京	西京	伏見	合計	割合
製造業		88	1,427	0	125,318	86,488	16,633	8,300	455,839	200,183	0	253,827	1,148,103	94.5%
食料品製造業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
繊維工業		0	0	0	0	0	0	0	259,903	1,300	0	44,361	305,564	25.1%
木材・木製品製造業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
出版・印刷・同関連産業		0	0	0	120,140	0	0	0	47,300	124,943	0	4,700	297,083	24.4%
化学工業		88	0	0	168	86,228	2,535	6,800	65,852	4,239	0	25,826	191,735	15.8%
医薬品製造業		0	0	0	0	0	1,380	1,500	0	0	0	0	2,880	0.2%
プラスチック製品製造業		0	0	0	0	0	0	0	20,380	3,100	0	85,920	109,400	9.0%
窯業・土石製品製造業		0	0	0	0	0	0	0	18,287	0	0	0	18,287	1.5%
非鉄金属製造業		0	0	0	0	0	7,959	0	1,344	0	0	0	9,304	0.8%
金属製品製造業		0	1,427	0	0	0	1,121	0	10,469	5,202	0	55,300	73,519	6.1%
一般機械器具製造業		0	0	0	3,040	0	0	0	1,600	0	0	0	4,640	0.4%
電気機械器具製造業		0	0	0	0	0	0	0	30,584	58,873	0	15,000	104,457	8.6%
輸送用機械器具製造業		0	0	0	0	0	3,638	0	0	2,526	0	8,800	14,964	1.2%
精密機械器具製造業		0	0	0	1,970	260	0	0	0	0	0	0	2,230	0.2%
医療用機械器具・医療用品製造業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
その他の製造業		0	0	0	0	0	0	0	120	0	0	13,920	14,040	1.2%
下水道業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
石油卸売業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
自動車卸売業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,100	1,100	0.1%
燃料小売業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
洗濯業		0	0	0	0	0	0	0	700	0	0	0	700	0.1%
自動車整備業		1,200	0	1,100	3,200	0	4,500	0	18,435	8,700	0	0	37,135	3.1%
商品検査業		0	0	0	2,300	0	0	0	0	0	0	0	2,300	0.2%
計量証明業		0	0	0	7,600	0	0	0	0	0	0	0	7,600	0.6%
一般廃棄物処理業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
産業廃棄物処分業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
特別管理産業廃棄物処分業		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
高等教育機関		0	1,201	149	0	0	3,300	0	0	0	8,797	0	13,447	1.1%
自然科学研究所		0	0	2,100	0	0	0	0	2,600	0	0	0	4,700	0.4%
合計		1,288	2,629	3,349	138,418	86,488	24,432	8,300	477,575	208,883	8,797	254,927	1,215,085	100.0%
割合		0.1%	0.2%	0.3%	11.4%	7.1%	2.0%	0.7%	39.3%	17.2%	0.7%	21.0%	100.0%	－

※移動量の合計・割合は端数を四捨五入しているため、本集計表の縦・横方向に合計した値と異なることがあります。

(参考) 個別事業所データの入手について

個別事業所の届出データについて、郵送やインターネット等により国に開示請求をすることができます。全国の事業所の届出データを収録したCD-Rを1,100円で入手できる他、書面、フロッピーディスクで開示されます。

(問合わせ先)

経済産業省 製造産業局 化学物質管理課	電話 03-3501-1511 (内線 3694, 3695) http://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/index.html
環境省 環境保健部 環境安全課	電話 03-3581-3351 (内線 6356) http://www.env.go.jp/chemi/prtr/risk0.html